

GN309FA/Rev フルオートバグキー/左手用 取扱説明書

この度は フルオートバグキーのお買い上げ誠に有難う御座いました

R24.11.24

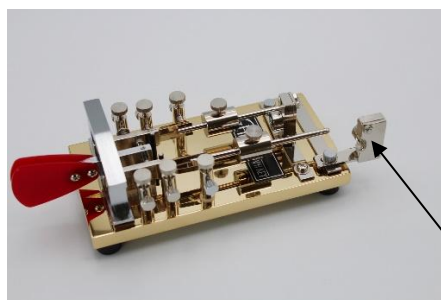
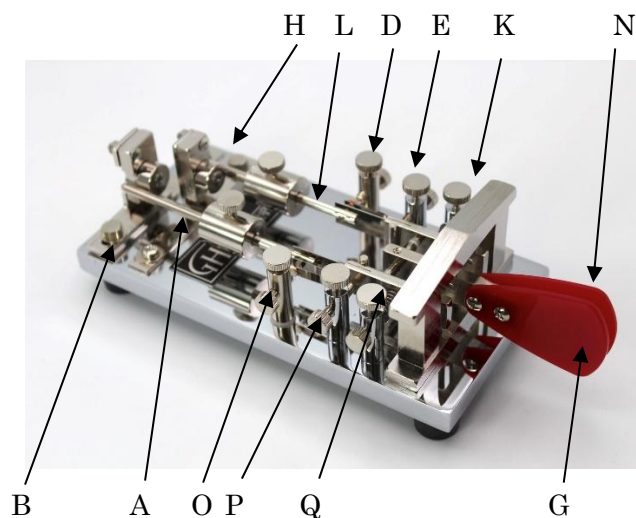
特徴

- ・短点及び長点の連続符号が出せる バグキーです

(可なりの練習と素質が必要ですが 上手く操作するとエレキーのような符号が出せます)

調整手順

- ① バグキーが置かれた机等が水平になっている事を確認します
- ② 錘を写真の様に取付ます (取付時は写真右のようにします、写真は一部異なる所があります)
- ③ 右側のメカが短点になります、シャフト L と振止めのリングが軽く触れるようにネジ H で調整します
- ④ ツマミ N を左に押したときツマミの先端(体に近い方)が 1~2 ミリ動くようにネジ E を合わせます、この時のバネ圧をネジ K で合わせます
- ⑤ 短点操作時にシャフト L に取り付けられた錘が左右に振れますがその動きが終息した時 ヘアピン接点とネジ D に取り付けられた接点が軽く触れるようにネジ D を微調整します
- ⑥ 左側のメカが長点になります、シャフト A と振止めのリングが軽く触れるようにネジ B で調整します
- ⑦ ツマミ G を右に押したときツマミの先端(体に近い方)が 2~3 ミリ動くようにネジ P を合わせます、この時のバネ圧をネジ Q で合わせます
- ⑧ 長点操作時にスペースと長点の比率が約 1:3 になるようにネジ O を合わせます、発生する長点の数は 5 個以上出れば良好です(メカ接点のフルオートバグキーの長点はデューティ比率が高いため、多くの符号を出すのは困難です)
- ⑨ 各調整が終わりましたら 各ネジの上にある ロック用ネジを締めます



錘を取り付ける時は上の写真の様に振り止め金具を一旦後ろ側にします(シャフトを無理に曲げずに 振り止め金具を一旦後方にズラします)

ご注意

長点側の板バネは構造上薄く柔らかく出来ています、錘の取付けや錘の位置調整時は、余り力を入れずに優しく取り扱ってください、ツマミを操作するときは**指の腹で優しくツマミを押す**ように操作してください、力を入れすぎると錘が動く前に接点が閉じてしまい**良い符号が出ません**、特に長点側は **落ち着いてゆっくりと操作**してください、フルオートバグキーは 他のキーと違い 使わして頂く という位の気持ちで操作してください

尚車での移動や発送する時は **各錘を外して下さい**、錘を取り付けたままでの移動や発送すると**板バネが破損する恐れがあります**